



汚職防止マニュアル



健全にビジネスを行うためのガイド

Contents

はじめに／目的	4
汚職とは何か？	4
それについて何が行われているのか？	4
なぜ汚職防止マニュアルを作成するのか？	4
バイオメリューはどのように汚職を防止するか？	4
質問がある場合には、誰にたずねればよいのか？	5
何がリスクか？	5
汚職防止マニュアルの適用	6
このマニュアルを守らなければならないのは誰か？	6
遵守しないとどうなるのか？	6
上司からこのマニュアルに違反することを求めるよう求められた場合にはどうなるのか？	6
自分の国の法律がこのマニュアルと異なる場合にはどうするか？	7
贈収賄・汚職防止規約	7
賄賂とは何か？	7
バイオメリューの規約はどのようなものか？	7
それは何を意味するか？	8
販売店が贈答品を提案または約束したが、受け取る側が拒否した場合は、賄賂にあたるのか？	8
「公務員」とみなされるのはどのような人物で、それが重要なのはなぜか？	8
許可の承認や政府の決定を速めるための支払いはどうか？賄賂となるのか？	8
公務員に支払いを求められた場合はどうか？	8
政府に対する支払いで認められるのはどのようなものか？	8
医療従事者との付き合い方	9
なぜ医療従事者と付き合うのか？	9
医療従事者との付き合いを規制する法律はあるのか？	9
業界の行動規範はどうか？	10
贈答品、接待、娯楽および旅行	10
旅行、宿泊、娯楽および飲食	11
贈答品	12

寄付：政治的&慈善目的	13
私たちが政党への企業献金を禁止しているのはなぜか？	13
何が慈善目的の寄付または非商業的な支援とみなされるのか？	13
慈善目的の寄付と非商業的な支援の規則はどのようなものか？	13
会計および記録保管	15
会計と記録の保管はどのようにコンプライアンスに関係しているか？	15
しなければならないことは何か？	15
赤旗を見逃さない	16
汚職の信号の「赤旗」とは何か？	16
ハイリスクの第三者の選別とモニタリング	17
第三者とどのように付き合うか？	17
汚職のリスクが高い第三者とはどのようなものか？	17
リスクを減らすには何をすべきか？	18
取引先を知る	18
赤旗にはさらに調査が必要	18
ハイリスクの第三者はすべて、文書による契約が必要	19
ハイリスクの第三者への支払い	19
ハイリスクの第三者との付き合い方：まとめ	20
買収合併プロセス	20
買収や合併、合併に関連するリスクは何か？	20
どのようにすればリスクを低減できるか？	20
懸念の表明	21
なぜ自分の懸念を表明すべきなのか？	21
問題をどのように報告するか？	21
報告はどのように扱われるか？	21
汚職防止ですべきこと、すべきでないこと	22

はじめに／目的

汚職とは何か？

汚職とは、個人または会社の利益のために、進んで不誠実または不正に行動しようとするものである。権限を持つ立場の人物が違法に金銭を受け取って、その金銭を支払った者の有利になる決定を行った場合には、汚職に関与したことになる。支払った者もまた同様である。一部の社会または状況では、こうした支払いがしばしば行われており、汚職による損害を忘れがちである。汚職は、ビジネスのコストをふくらませ、不正な競争を引き起こし、イノベーションにダメージを及ぼし、社会構造をむしばむ。経済成長を遅らせ、変形させ、誤った方向に導き、そして、貧困を深刻化させる。



与える側も受け取る側も
汚職に関与したことになる！

それについて何が行われているのか？

汚職は公共の利益に損害を及ぼすため、汚職に対する批判は世界的に高まっている。汚職はどこにおいても違法であり、世界中の国々は積極的に汚職防止法を施行している。各企業は、社員や取引先が違法な支払いを行わないよう内部管理を強化している。このようにして、各国政府と企業は、権限を持つ人々に対して、汚職はもはや容認されないとのシグナルを発信している。

なぜ汚職防止マニュアルを作成するのか？

グローバル企業であるバイオメリュウの社員と販売店は、契約や許諾、免許およびその他政府の認可を受けるために、官僚らと頻繁に連絡を取ることがある。また、私たちは医療従事者とも頻繁に接触する。こうした関係は、しばしば国際・国内の汚職防止・リベート防止法の対象となる。このマニュアルは、汚職のリスクが高い分野で法律を遵守して行動するための手引きとして作られた。

バイオメリュウはどのように汚職を防止するか？

バイオメリュウは、贈収賄や汚職の不正な影響を受けずに活動を行おうとしている。賄賂その他の直接または間接の贈答品や支払いは、当社のグローバル行動規範で禁止されている。バイオメリュウ

一は、この禁止事項を遵守するための社員向けの具体的な手引きとして、このマニュアルを採用した。このマニュアルを読んで理解し、これを守ることが、各社員の責任である。

バイオメリューの汚職防止プログラムの内容は以下のとおりである。

- このマニュアルを含む、規約と手続き
- 汚職防止の原則についての頻繁なトレーニング
- 汚職のリスクについての定期的調査
- リスクを低減するための国際レベルと現地レベルの行動計画
- 第三者の評価とモニタリングのための適正評価プログラム
- 現地レベルで規約と手続きを実施するための各現場／子会社またはグループレベルでのローカルコンプライアンスチーム（LCT）の結成
- 社内・社外でアクセスできる、懸念を報告するための EthicsLine アラートシステム
- 内部監査での汚職リスクの評価

倫理・コンプライアンス部が汚職防止プログラムの管理にあたる。このプログラムは、経営幹部などで構成するグローバル倫理・コンプライアンス委員会が定期的に検討する。汚職のリスクと低減策は、定期的に上級管理職と取締役会にも報告される。

質問がある場合には、誰にたずねればよいのか？

このマニュアルを読んで理解することで、汚職のリスクがある状況を認識できるようになり、それにどのように対処すべきかを知ることができる。しかし、業務で遭遇するすべての状況が網羅されているわけではない。リスクがあるかもしれない状況を思いつき、それにどのように対処すべきかがよくわからない場合には、指導を求めるべきである。上司や所属先の倫理・コンプライアンス部、法務部がサポートしてくれる。倫理・コンプライアンスオフィスにメール（Compliance_Officer@biomerieux.com.）でコンタクトすることもできる。質問や懸念はできるだけ秘密にし、迅速かつ適切に対応がなされる。

何がリスクか？

この規約は、あなたと会社を守るためのものである。汚職防止法の違反は、バイオメリューとその社員、そして取引先に対する民事上・刑事上の重大な刑罰につながることもある。国によっては、汚職防止法違反で個人に罰金、拘留、懲役などが科されることもある。政府が汚職に関与した企業に対して、罰金の支払い、利益の返還、長期にわたる公開入札への参加禁止を命じることもある。

重要なことは、汚職防止法が存在しない場合であっても、バイオメリューもその社員も取引先も、国際的な汚職防止法の対象となるということである。米国の海外腐敗行為防止法（FCPA）やフランスのサパンII法、英国の英国贈収賄禁止法（UKBA）はそれぞれ、各国の汚職防止担当機関が世界のどんな場所での不正行為についても多国籍企業と個人を捜査・訴追できるよう、対象範囲は国家の枠にとどまらなると定めている。こうした違反の罰金は数百万ユーロにもなっている。

汚職防止マニュアルの適用

このマニュアルを守らなければならないのは誰か？

このマニュアルは単なる文書ではない。これは、特にバイオメリューの活動で第三者と関係を持つ場合に、バイオメリューを代表する人間としてのあなたの行動の指針となるものである。このマニュアルに示された規約は、バイオメリューのすべての子会社、関連会社の社員と役員に適用される。各子会社は、このマニュアルと矛盾せず、その厳格さを低下させないもので、グローバルコンプライアンスの担当者が承認したものであれば、汚職防止に関連する規約や手続きを追加することもできる。こうした追加の規約や手続きのコピーは倫理・コンプライアンス部（Compliance_Officer@biomerieux.com.）に送信する。

多国籍企業の場合には、業務におけるひとつの状況に複数の国の法律が適用されることがしばしばある。ある国で慣例になっていること、あるいは合法でさえあることでも、国際的な汚職防止法では違反となることもある。こうした状況では、常にこのマニュアルを遵守する。

遵守しないとどうなるのか？

バイオメリューの社員または役員には、このマニュアルを厳守することが期待されている。このマニュアルに違反した、またはその違反を容認した社員は、汚職防止法に基づき個人に課される刑事上・民事上の刑罰に加えて、最高では解雇などの懲戒処分の対象となる。

上司からこのマニュアルに違反することをされるよう求められた場合にはどうなるのか？

不正行為への関与を拒んだ場合、拒否したことで取引を失う結果となった場合であっても、社員は刑罰を科されたり、バイオメリューの他の社員から報復にあたりすることはない。**法律に従わなくてはならない。**可能であれば、まず懸念を自分の上司に伝える。しかし、ためらわずに、法務や倫理・コンプライアンスのチームの指示を仰いでほしい。

以下のタイプの法律に見られる規制に注意：

- ・ 医療従事者との付き合いを規制する法律
- ・ 医療関係のマーケティングに関する法律
- ・ 公正な競争を制約する、または制約しようとする不適切な行為を禁止する反トラスト法
- ・ 調達または公共入札の規則

自分の国の法律がこのマニュアルと異なる場合にはどうするか？

決して法律に違反してはならない。一部の国の法律、業界基準または習慣では、このマニュアルと異なる基準が定められていることもあるかもしれない。たとえば、現地の公的調達の規則を適用した場合、このマニュアルの基準よりも厳しいこともある。また、医療従事者（HCP）を対象に特定の法律を定めている国もある。現地の法律でより厳しい基準または追加の基準が定められている場合、その現地法を遵守しなければならない。逆に、このマニュアルの基準のほうが厳しい場合には、このマニュアルに従う。たとえば、ある文化圏または国においては許される取引上の慣行であると見られる支払いであっても、このマニュアルの贈答についての指針に従わなければならない。ただし、このマニュアルを遵守したことで国の法律の違反となる場合には、現地の法律に従い、倫理・コンプライアンス部にその矛盾点を知らせなければならない。

贈収賄・汚職防止規約

賄賂とは何か？

バイオメリューでは、「賄賂」とは、直接または間接に取引上の決定に不適切もしくは違法に影響を与える、またはバイオメリューに不公正な利益をもたらす、有価値のものと考えている。

一部の国の贈収賄の規則では、公務員や商取引の顧客など、あらゆる人物に対する不正な支払いを禁じている。賄賂や汚職行為とする金額の最低金額を定めている汚職防止法はほとんどなく、不正に利益を得ようとする意図だけで賄賂であるとしている。

不適切な支払いにはさまざまな形態がある。現金の支払いであることが多いが（しばしば、仲介者を介した「コンサルティング料」や「手数料」と偽ることがある）、旅費の肩代わりや高額な贈答品のこともある。

バイオメリューの規約はどのようなものか？

ビジネスは賄賂や汚職による不公正な影響なしに行わなければならない。直接的にも間接的にも、不適切な支払いをしてはならない。不適切な支払いとは、ビジネスに不公正・違法に影響を及ぼすことを意図して（またはそのように認識されて）有価値なものを提供することである。不適切な支払いの例は、公務員、顧客、その他第三者への、個人的な利益のための賄賂、リベート、接待または寄付などがある。

それは何を意味するか？

不適切または違法に利益を得るために、有価値のものを与えたり、約束したり、あるいは提案したりせず、会社の利益のためにこうした行為を誰に対しても認めてはならない。

販売店が贈答品を提案または約束したが、受け取る側が拒否した場合は、賄賂にあたるのか？

あたる。汚職防止法では、賄賂の提案、約束、支払いおよび提供を禁止するとともに、こうした行為を誰かに認めることや指示することも禁じている。不正行為に関与しているのではないかと疑わしく思う人物に協力することさえも、違法である。汚職のサインである「[赤旗](#)」を無視してはならない。

「公務員」とみなされるのはどのような人物で、それが重要なのはなぜか？

公務員には、大臣、秘書官、官僚、国会議員、裁判官、選挙で選ばれた役職者、候補者または政府もしくは政府が所有する団体の職員が含まれる。政府が多くの物品とサービスを管理している国では、そうした組織の職員も公務員とみなされる。たとえば、政府が所有または管理する病院の場合、医師や病院職員も公務員とみなされる。各国の汚職防止法は、公務員の贈収賄を厳しく禁じている。したがって、不正行為と受け取られることを避けるためにも、公務員との付き合いには特に注意をしなければならない。

許可の承認や政府の決定を速めるための支払いはどうか？賄賂となるのか？

バイオメリューが政府の措置に対して合法的な権利を有している場合であっても、措置のために賄賂を支払うことは違法である。取引の開始、既存取引の継続、許可もしくは認可の取得、政府による望ましくない措置の阻止、税金もしくは関税の回避、税金の減額、競合の入札参加の阻止のため、または不適切に利益を得るために、賄賂を支払ってはならない。支払いが違法かどうかについて不明な点がある場合には、倫理・コンプライアンスに問い合わせる。

公務員に支払いを求められた場合はどうか？

拒否しなければならない。贈収賄防止法は、支払いを提供する側にも受け取る側にも適用される。相手が賄賂を要求したという言い訳は認められない。不正行為への関与を拒んだ場合、拒否したことで取引を失う結果となった場合であっても、社員は刑罰を科されたり、バイオメリューの他の社員から報復に遭ったりすることはない。

政府に対する支払いで認められるのはどのようなものか？

贈収賄防止法では、個人的な利益のために公務員に支払いをすることを禁じている。正当かつ合法的なビジネス上の目的での合理的な支払いは禁止されていない。たとえば、

- **政府への所定の支払い** – 許可や免許、査証など、税金や政府のサービスについての公表されている料金は認められており、政府との通常のビジネスの中で支払われる。ただし、公表されている政府の料金を上回る金額の支払いは回避しなければならない。支払いの一部が個人的に公務員に利用されることがあってはならない。

- **正当かつ合法的なビジネスの経費** - 経費は常に正当かつ合法的なビジネスの目的を達成するために合理的なものでなければならない。たとえば、承認を受けて明確に定められた契約の履行に直接関係する経費は通常認められる。経費は各状況において、次のようであればならない。
 - **適切なビジネスの目的を達成するために必要である。** 取引の獲得または維持の目的で公務員の立場を利用するために影響を及ぼすことを意図した支払いは適切ではないことを忘れてはならない。
 - **状況において合理的である。** 世界の多くの地域の生活水準と大きくかけ離れている場合には、ある国の基準では妥当な経費とみなされるものであっても、異なる基準では不適切な勧誘と見られることもある。
 - **適切な文書の裏付けがあり、事前に承認を得ている。** 支払いの目的と金額、受領者を示した正確かつ明瞭な記録を必ず保管しなければならない。
 - **このマニュアルの指針を遵守している。** 旅費や飲食代など、特定の種類の支払いは別の項で具体的に取り上げる。
 - **現地の手続きと基準を遵守している。**

医療従事者との付き合い方

欧米では、HCP との付き合いは、飲食、旅行、コンサルティング料などが HCP に提供された場合、記録し公表しなければならない。

なぜ医療従事者と付き合うのか？

バイオメリューが医療従事者（HCP）と付き合う最終的な目的は、患者のケアの質を高め、公衆衛生を向上させることである。当社の製品を処方、推薦、購入または供給してもらう目的で HCP に不適切な影響を及ぼすために HCP に何かを提案または提供することは決してしてはならない。

医療従事者との付き合いを規制する法律はあるのか？

多くの政府が、HCP と医療機関（HCO）への医療製品の宣伝・販売を厳しく規制している。HCP への支払いについての規則は国ごとに大きく異なる。さらに、主に政府が病院を所有または管理している国では、病院職員は公務員とみなされ、汚職防止法が適用されることがあることを忘れてはならない。

業界の行動規範はどうか？

MedTech、AdvaMed、Mecomed、その他の業界団体は、倫理基準を定め、業界内で公正な競争がなされるようにするための会員向けの行動規範を定めている。業務上、製品の販売、マーケティング、宣伝を担当する場合、または HCP と付き合う場合には、こうした規範を熟知する必要がある。詳しくは、[現地コンプライアンスチーム](#) にお問い合わせる。[このリンク先](#) でも業界の一部の規範を見ることができる。

HCP と付き合う場合には、このマニュアルの指針だけではなく、法律や業界の行動規範の規制も遵守しなければならない。

贈答品、接待、娯楽および旅行

第三者への贈答、飲食、宿泊、娯楽または旅行の提供は、それが過剰かつ不合理である場合、または正当なビジネスの目的がない場合には、禁止されている。不適切にビジネスの決定に影響を及ぼすために、こうしたものを提案または提供してはならない。

管理職である場合、自分のチームが提供する贈答品、娯楽、接待または旅費には注意しなければならない。たとえば、部下が誰にどんな贈答品を贈ろうとしているかを知っていなければならない。単に予算を承認するだけで、誰に何を贈るかは部下に任せるといふわけにはいかない。

留意点：公共入札の状況では特に注意が必要で、法務部の特定の承認なしには何も提供すべきではない。

以下を自問する：

その贈答品や接待、娯楽が新聞一面で報道されたら、
バイオメリューや受け取る側の
恥になるのではないかと？

そうであるなら、
提案はしない。

利害相反についてのメモ：

贈答品、謝礼、料金、手数料または支払いを受け取ることで、バイオメリューの社員に利害相反が生じることがある。これについては利害相反規約に示す。サプライヤーや顧客、その他取引先から受け取ったものゆえに、公正公平な取引上の決定を下せなくなる場合、利害相反は生じる。利害相反に見える状況は、可能な限り回避しなければならない。そうした状況に陥った場合、上司か倫理・コンプライアンスのアドバイスを仰がなければならない。

旅行、宿泊、娯楽および飲食

正当なビジネスの目的がある場合、適切な状況においては、**第三者**の旅行、宿泊および飲食の妥当な額のコストを支払うことは認められる。こうした状況においては、以下のことに留意しなければならない。



- こうしたコストは、個々の受領者で見た場合、**妥当かつ合理的で稀にしか発生しない**ものでなければならない。
- 費用負担の対象となる航空券、レストランおよびホテルのタイプについて、ビオメリューのグローバル出張規約およびその他現地で適用される旅行に関する手続きに基づく**ビオメリュー社員の待遇と同等に参加者を扱う**。
- **旅行の距離と滞在期間には正当なビジネス上の理由がなければならない**。
- ビジネスの目的において適切かつ明確に付随している場合を除いて、ビジネスのミーティングやイベントの参加者に**娯楽は一切提供してはならない**。公務員については、規則はより厳しく、ビジネスについて話し合う場合であっても、イベントの主たる目的が単に「ネットワーク作り」や「関係構築」であるのであれば、ビオメリューはゴルフや観光地へのサイドトリップを提供することはできない。一般的に業界規範は、HCP への娯楽の提供を禁止している。
- **第三者の家族のための支払いを行ってはならない**。
- 飲食の支払いは、飲食代が相手の立場に比して高額である場合や国内の生活水準に照らして高額である場合には、「不正な支払い」と見られる。**飲食代は、受け取る側もそれ以外の人も賄賂と解釈しないよう、その状況に照らして合理的かつ適切でなければならない**。各国で、HCP と公務員についての具体的な基準値を示して、第三者に対する現地の限度額を定め、倫理・コンプライアンスの確認を受けなければならない。
- **支払いはすべて、会社の帳簿に、出席者の氏名、各自について支払った金額、イベントの出席者などを、正確かつ明瞭に記録しなければならない**。一部の国では、出席した医療従事者の氏名と役職を記録し、公表しなければならない。
- **支払いは、可能な限り、航空会社やレストランなど、サービス提供者に直接行う**。いかなる場合でも、こうした経費には正当な理由と詳細な領収書が必要である。
- こうした規則の逸脱は、特殊な状況における稀なケースとし、事前に倫理・コンプライアンスの承認を受けなければならない。



医療従事者の旅行、宿泊および飲食についての支払いに関する規則は国ごとに異なり、多くの場合、非常に厳しいので、自分に適用される現地の規則や業界の規範を知っておかなければならない。一部は LiveLink [このリンク先](#) で見ることができる。さらに詳しく知りたい場合は、法務チーム、現地のコンプライアンスチームまたは倫理・コンプライアンス部に問い合わせる。



贈答品

第三者に提案または提供する贈答品または記念品については、以下を遵守しなければならない。

- 不適切な利益を得るためや措置に影響を与えるためには決して提供してはならないが、評価や感謝を表すものとしてのみ提供することはできる。
- 現地の法律と業界の倫理規範が認める贈答品でなければならない。
- 贈答品を提供する場合には、その国において状況に応じた習慣的かつ合理的なものでなければならない。贈答品は、受け取る側もそれ以外の人も賄賂とはみなさないよう、その国の生活水準に合わせたもので、現地の習慣で容認される価値のものにしなければならない。各子会社で、現地の生活水準と法律に合わせて独自の限度額を定め、倫理・コンプライアンスの承認を受けなければならない。
- 現地の伝統であったとしても、現金（または、ギフトカードなどの現金相当物）は一切贈ってはならない。
- 間接的に第三者に影響を及ぼすことを意図して、第三者の家族や友人に贈答品を贈ってはならない。
- 1人あたりについて支払った金額など、贈った贈答品はすべて、会社の帳簿に適切かつ明瞭に記録する。
- 本来贈ってはならない贈答品に会社のロゴを入れたからと言って、認められるわけではない。
- 贈答品については、事前に現地のコンプライアンスチームの承認を受けなければならない。公務員または医療従事者への贈答品については、事前に倫理・コンプライアンスの承認を受けなければならない。

旅行、宿泊、飲食と同様に、医療従事者への贈答品についての規則は国ごとに異なり、多くの場合、禁じられている。必ず現地の規則を確認する。一部は [このリンク先](#) で見ることができる。

以下の贈答品は認められていない。

- 現金またはギフトカード
- ジュエリー
- 衣服
- ハンドバッグ
- その他、高級品

寄付：政治的&慈善目的



私たちが政党への企業献金を禁止しているのはなぜか？

バイオメリューは、自身がコミュニティの一員であることを認識しており、社員が希望すれば、政治活動（および文化的活動、人道的活動またはスポーツ活動）への参加を奨励している。こうした活動は、業務時間外に行わなければならない、いかなるかたちでもバイオメリューをそれに関与させてはならない。

直接（寄付）にも、間接（物品やサービスの購入または供給）にも、地域や国内、国際的な政治活動は支援しないというのが、バイオメリューの方針である。

何が慈善目的の寄付または非商業的な支援とみなされるのか？

慈善目的の寄付とは、バイオメリューへの直接の見返りを期待せずに、慈善目的もしくは人道的な目的だけで、または慈善的もしくは人道的理由のために、金銭、機材または製品を提供すること、または現物を寄付することである。

非商業的な支援には、人道的または慈善的な目的で、団体（一般的には非営利団体）に支援を提供し、それと引き換えに広告／宣伝の機会またはその他メリットをバイオメリューが得る活動が含まれる。

これには、特定の承認を必要とする、研究助成金、教育助成金または（展示会のブースなどの）商業的な支援は含まれない。詳しくは [このリンク先](#) で見ることができる。

慈善目的の寄付と非商業的な支援の規則はどのようなものか？

バイオメリューはコミュニティを重視し、しばしば意味のある活動を支援して、金銭や製品、サービスの提供を行っている。また、社員による慈善活動の支援も奨励している。こうした寄付は、見返りとして受け取った側からの利益提供を期待することなく、私たちが価値を認めたことの証として提供している。バイオメリューは、合法的な慈善事業が受取先であっても、ビジネス上の利益と引き換えに寄付を行うことはない。

ときには、真に心からの寄付であっても、取引先からの有利な条件を得ようとするものと誤解されることもある。たとえば、病院の代表者と契約交渉としているときに、その人物の慈善事業へ資金提供することは、その寄付が有利な条件を引き出すことを意図したものでなくとも、汚職の可能性があると見られることがあるので避ける。

汚職のリスクと汚職と見られる可能性を減らすために、以下の規則を守らなければならない。

1. バイオメリューのビジネス上の利益を得ることを意図して、個人的またはバイオメリューの代理として、何かへの寄付、または寄付の約束をしてはならない。
2. いかなるビジネスの交渉も、慈善目的の寄付の協議とは完全に切り離さなければならない。

3. 取引関係に影響を及ぼすことができる既存の取引先または取引先の候補に関連する慈善事業への寄付または支援は避ける。
4. 慈善目的の寄付／非商業的な支援は、その慈善事業／非営利団体に直接行わなければならない。個人または営利団体に対して行ってはならない。一般的にこうした団体は、活動する国において、納税免除の非営利団体として登録されている。
5. 資金を提供する前に必ず、公的な登録を確認して、www.charitynavigator.org など評判の良い慈善事業監視組織を利用してインターネットで調査する。
6. 寄付は、会社の帳簿の該当する勘定科目に正確かつ明瞭に記録する。寄付の証明となる慈善目的寄付関連書類を保管する。
7. 慈善目的の寄付と非商業的な支援についての現地のガイドラインを必ずチェックする。政府や業界団体がこれについてのより厳しい規則を定めている場合もある。
8. 医療従事者や公務員、政府機関からの要請に基づく寄付は、法律違反とならないよう特に確認が必要であることに注意する。さらに、一部の地域では、特殊な状況を除いて、医療機関への寄付は業界規範で禁じられている場合もある。
9. [このリンク先](#) に示した慈善目的の寄付／非商業的な支援の承認プロセスを遵守する。

会計および記録保管



虚偽または不正な記録は、刑事訴追につながる可能性がある。

会計と記録の保管はどのようにコンプライアンスに関係しているか？

適切な記録保管はコンプライアンスの重要な要素であり、税法や一部の汚職防止法に定められている。これを適切に行うことは会社にとって、(1)懸念される状況を見つけ、適切な手続きがなされるようになり、(2)管轄当局に疑われた場合に会社の行動を釈明する際の助けとなる。

しなければならないことは何か？

内部管理マニュアルなど、会社の財務管理手続きに従う。

規則は以下のようにシンプルである。

- 会計記録は正確かつ完全に文書化する。
- 該当する場合には、適切な承認の取得や適正評価の実施など、内部規約遵守の必要な手順を踏んだことを文書化する。
- 「帳簿外」は決して作ってはならない。
- 虚偽、紛らわしいまたは不正な記載をしない。
- 支払いの一部を裏付け文書に記載されていない目的で利用するとの意図、目的または理解で、承認または支払いを行ってはならない。
- 会社の記録は、内部規約、税およびその他適用される法律や規則に従って保管および保存する。

以下を自問する：

関係のない人が、それが何の会計記録であるか、支払いを受け取るのは誰か、あるいはそこで利益を得るのは誰か、そしてその理由は何かを理解できるか？

[汚職の信号の](#) 取引に注意し、それを避けなければならない。

赤旗を見逃さない



汚職の信号の「赤旗」とは何か？

汚職が疑われる場合、倫理・コンプライアンスに知らせ、一連の適切な行動を決める。その他の赤旗については、第三者の項で述べる。

赤旗の例を以下に挙げる。

- **通常と異なる支払いパターンまたは財務処理** たとえば、サービスが行われたのではなく、受取先が拠点を置いていない国の銀行口座に支払い（「オフショア」ペイメントと呼ばれる）をするよう依頼された場合、十分注意する。
- **経費または会計記録に透明性または文書がない場合** たとえば、請求書がない場合や、金額が過剰で裏付け文書がない政府関係の顧客の旅費については、さらに調査が必要となる。
- **販売店の値引き額が高すぎる場合** たとえば、過剰な値引きは、顧客やその他の意思決定者への「不正資金」に使われる可能性がある。
- **政府関連の経費の支払いが個人に行われた場合。**
- **（電子決済または会社の小切手での支払いではなく）現金支払い** 現金支払いはごく限定的なものとし、内部管理マニュアルなどの該当する会計手続きに従って厳しく管理しなければならない。
- **公務員が所有する、またはその影響を受ける団体への支払い** たとえば、政府関連の顧客が資金提供した慈善事業への支払いは汚職の可能性がある。
- **顧客または公務員の配偶者の経費の支払い。**
- **競争入札プロセスまたは契約交渉に関与する組織への贈答品もしくはその他支払い、またはそうした組織からの贈答品またはその他支払い。**
- **過剰または会社の規約違反と見受けられる、贈答品またはその他支払い。**
- **ビオメリューに物品またはサービスを提供している組織以外の組織への支払い要請。**
- **その他、このマニュアルまたは内部管理マニュアルの違反の疑い。**

ハイリスクの第三者の選別とモニタリング



第三者とどのように付き合うか？

第三者は、現地のビジネスチャンスを見つけ、現地での関係を構築し、現地の習慣についてのアドバイスを提供してくれるなど、さまざまな国でバイオメリューのビジネスにおいて基本的な役割を果たすことがしばしばある。一方では大きな汚職のリスクをもたらすこともある。エージェントやコンサルタント、販売店などの代理人による不正行為により、個人や会社が民事上・刑事上の刑罰を受けることもしばしばある。そのため、私たちは当社と同じ倫理的・法的原則に従って業務を行っている第三者とのみ取引をするように努めなければならない。第三者は、当社の社員が行った場合に違法または倫理違反とされる行為をバイオメリューのために行ってならない。

汚職のリスクが高い第三者とはどのようなものか？

ハイリスクの第三者の例を以下に挙げる。

- バイオメリュー製品の販売店
- 顧客または政府に対してバイオメリュー製品を販売する、営業関連事業のコンサルタント、エージェントまたはその他組織
- 政府関連のビジネスの獲得または政府の措置に影響を与えることに部分的または全面的に関与する第三者支払人
- 個人として、または社員1名の法人として支払いを受ける人物
- バイオメリューへの、またはバイオメリューからの製品およびサービスの提供には関与していないものの、バイオメリューへ支払いを行う、またはバイオメリューから支払いを受ける第三者
- 汚職のリスクが高い国では、旅行代理店、イベント主催者、コンサルティンググループ、乙仲業者、倉庫会社、通関業者／ブローカー、建設請負会社または設備管理業者など、その他のサービス提供者

ハイリスクの第三者と付き合う前に、[000254 第三者承認手続き](#)の所定の手続きを踏む。

リスクを減らすには何をすべきか？

取引先を知る

第三者の行為の責任は深刻なリスクを伴うため、所定の規則に従い、市場で**当社の代理となっているのはどんな組織であるか**を知っておかなければならない。

新規にハイリスクの第三者と付き合い前には、**第三者承認手続きを遵守**しなければならない。第三者承認申請書を提出する前に、必ず**慎重に適正評価**を行って、相手先の事業の評判や公務員との関係を調査し、以下の点を確認する。

1. その組織の倫理的な評価が確認でき、バイオメリューとの取引の期間を通じて、汚職防止法に従うことを保証する意思がある。
2. その組織との取引の開始または関係の構築に正当なビジネス上の理由があり、適切に承認を得ている。
3. 支払いの手配は、慎重に行われ、取引上合理的で法律を遵守しており、提供されたサービスまたは物品に相応なものである。関係は、その第三者が関与する不適切な行為に対する、契約による追加的な保護策が含まれた適切な文書に従って構築され、それに準拠している、またはそうなる予定である。
4. その組織と担当のバイオメリューの社員の双方への十分なトレーニングを行って、今後関係をきちんと管理することになっている。リスクを考慮して、関係を担当する当社の社員は、1)必要な場合には契約上の監査権を行使し、2)その第三者に毎年、コンプライアンスの証明を求める。

適正評価に関連する手続きと書式は、本規約の末尾に示す。**ハイリスクの第三者と付き合いすべての部署が**、その組織に関連して実施した**適正評価についての詳細なファイル**を保管しなければならない。このファイルは少なくとも、契約書、照会／スクリーニングチェックの結果、承認済みの第三者承認申請書を立証するものとする。こうしたファイルは、要請があれば、倫理・コンプライアンスまたは内部監査が直ちに閲覧できるようにしておかなければならない。

赤旗にはさらに調査が必要

一部の状況においては、汚職を知らせる「赤旗」が見られ、第三者の行動についてさらに調査が必要になる。こうした状況が発生するのは、その第三者が次のような場合である。

- 汚職のリスクが高い国または地域で事業を行っている。
- 公務員である、または公務員に近い親族であるもしくは公務員と取引上のつながりがある。
- 公務員または医療従事者に推薦または指定された。

販売店管理手続き (LLDC 000236)

では、バイオメリューの製品やサービスのマーケティングや販売に携わる第三者企業の選定、契約、管理に関する追加要件が定められている。

- 現金もしくは前払い、またはオフショアペイメントもしくは通常と異なる支払い条件で支払うことを要請する。
- 提供するサービスに比して過剰な額の手数料またはその他報酬を求める。
- 異例に高額な経費または裏付け文書のない経費についての支払いを求める。
- 特に政府が関与する活動など、通常のビジネスのチャネルを迂回するとの評判がある。
- 資格がないまたはスタッフが不足しているように見える。
- 公務員との付き合いまたは政府の認可に関連する付き合いを単独でコントロールすることにこだわる。
- ビオメリューの第三者のビジネス原則の遵守を拒否する。

上記の項目に該当する場合やこれ以外の懸念がある場合には、追加の調査と問い合わせが必要となる。赤旗が見つかった場合には、（その第三者との面談、適正評価専門の業者の確保など）追加の詳細な適正評価、契約上の保護策の追加、トレーニングおよび／またはその他適切な改善措置で必ず対処しなければならない。赤旗がある場合には、倫理・コンプライアンスの承認を受けなければならない。

追加の調査とモニタリングでも十分に懸念事項に対処できない場合には、その第三者を採用してはならない。懸念または疑問点がある場合には、倫理・コンプライアンスに支援を求める。

ハイリスクの第三者はすべて、文書による契約が必要

適正評価で第三者を十分に調査したうえで、その組織と正式な文書での契約を行わなければならない。契約書は以下のようにする。

- 可能な限り、法務部が提供する書式を利用する。契約書管理手続きを遵守する。
- その第三者の役割を指定し、報酬の基準を明確に定める。
- その第三者に[バイオメリューの 第三者向けビジネス原則\(LLDC – 042022\)](#)の遵守を表明するよう求める。
- 当社にその第三者の帳簿や記録への妥当なアクセスを認め、定期的にそれを監査する権利を与える。
- 汚職防止法の違反があった場合に当社が契約を解除する権利を保障する。
- その販売店が定期的に汚職防止法の遵守を継続していることを保証することを求める。

ハイリスクの第三者への支払い

報酬は業界、国、社内の基準に沿ったものとするのを忘れてはならない。第三者への支払いはすべて、会社の帳簿に明瞭かつ正確に記録しなければならない。

ハイリスクの第三者との付き合い方：まとめ

1. **適正評価** 第三者承認手続きを遵守する。書式には漏れなく記入し、その第三者の背景に踏み込んで調査を行う。すべての結果を含んだファイルを保管する。
2. **バイオメリューの基準の伝達** その第三者に第三者向けビジネス原則を渡し、原則の遵守が関係構築の要件であることを理解させる。
3. **赤旗の調査** ハイリスクの関係を示す「赤旗」はすべてチェックする。こうした兆候が見られる場合、契約関係の構築または既存の関係の継続の前に、追加の調査とモニタリングが必要となる。
4. **承認** このマニュアルと現地の手続きに従って、関係についての必要な承認を取得する。
5. **契約上の保護策** 必要な規定を盛り込んだ書面による契約により関係を文書化する。
6. **モニタリング** 関係のモニタリングを継続し、赤旗を見つける。

買収合併プロセス

買収や合併、合併に関連するリスクは何か？

買収した企業が犯した汚職防止法の違反について、バイオメリューに責任があるとされることがある。相手の企業を徹底的にスクリーニングしない場合、バイオメリューが民事上または刑事上の責任を負うことになったり、契約を失ったりすることがある。

どのようにすればリスクを低減できるか？

買収や合併、合併を担当しているのであれば、汚職防止の適正評価を十分に行うようにする。バイオメリュー以外の会社への投資または合併契約の締結の前には、法務部や倫理・コンプライアンス部と協力して、適切な手続きを踏む。買収完了後は、倫理・コンプライアンスと協力して、新会社をバイオメリューの倫理・コンプライアンスプログラムに参加させるようにする。



懸念の表明

なぜ自分の懸念を表明すべきなのか？

盤石で効果的なコンプライアンスプログラムには、コンプライアンスの文化が不可欠である。それなくしては、問題が報告されることはなく、修正されることもない。最高の汚職防止コンプライアンスプログラムを維持できるかどうかは、あなたにかかっている。あなたは「現場」にいるのであるから、法律や当社の規約を遵守していない行為を防止できる立場にいるのである。問題の可能性を見つけた場合に疑問や懸念を伝えることで、ともすると会社に損害を与えるかもしれない不正行為に確実に対応することができる。

問題をどのように報告するか？

不正な支払いの「赤旗」に遭遇した場合または関連する問題を見つけた場合には、Compliance_Officer@biomerieux.com宛てに倫理・コンプライアンス部に知らせるか、会社のEthicsLineで問題を報告する。EthicsLineの詳細は [このリンク先](#) で見ることができる。

報告はどのように扱われるか？

会社は可能な限り、あなたやその他の証人への聞き取り、関係書類の収集と確認、外部弁護士との相談など、迅速で徹底的な調査を実施する。法律に基づいて可能な範囲で、報告は秘密にする。

ピオメリューは、良心に基づく報告、法律違反の拒否、それに関する調査への参加をした社員に対する脅迫または報復を許さず、また容認しない。

汚職防止すべきこと、すべきでないこと



ビオメリューの原則を守り、正直かつ健全に行動する。



「公務員」には、政府代表者、政党、政党職員または候補者、さらには政府が所有する組織で働く者も含まれることを忘れない。これには政府が所有する病院または研究所の職員も含まれる。



(取引先、販売店、契約業者、その他エージェントなど)ビオメリューの代理となる第三者に汚職防止法の遵守を認識させる。



汚職防止法違反の可能性を示す「赤旗」がないかどうか、第三者の仲介業者を継続的にモニタリングし、そうした「赤旗」だと確信した場合、グローバル倫理・コンプライアンス担当者に伝える。



公務員の旅費、飲食代またはその他経費の還付を申請する場合、会社の規約に従う。



懸念や違反の疑いは、グローバル倫理・コンプライアンス担当者か、利用できる場合には、EthicsLineで直ちに報告する。



医師への支払い、調達、汚職防止法など、自分の国の適用法を遵守する。



いかなる「公務員」にも有価値のものを提供、約束または提案してはならない。



(社員、取引先、サプライヤー、販売店、契約業者またはその他エージェントも含めて)誰に対しても、ビオメリューの代理として禁止されている支払いを許してはならない。



あなたの利害と当社の利害のあいだに利害相反を生じかねない贈答品、招待またはその他優遇措置を受け入れてはならない



法務部の合意なしに、公務員を採用してはならず、公務員または公務員の親族の採用の可能性について話し合っはならない。



合法的なビジネス上の目的なしに、ミーティングを手配してはならない。



会社の資源を乱用してはならない。



会社の承認手続きを踏まずに、慈善目的の寄付またはその約束をしてはならない。